

主催：厚生労働省

日時：2024年2月14日（水）13:00～17:15

会場：宮城県仙台市（TKP ガーデンシティ仙台駅北）

「生産性向上推進フォーラム」

～医療法人敬英会老健さくらがわの取組～

公益社団法人全国老人保健施設協会人材対策委員会副委員長

公益社団法人大阪介護老人保健施設協会理事（人材対策部会長）

医療法人敬英会 理事長

光山 誠

agenda

2

- 自己紹介
- 医療法人敬英会老健さくらがわの取組事例（厚労省大臣優良表彰）
- まとめ

プロフィール 光山誠

【経歴】

医療法人敬英会理事長

社会福祉法人敬英福社会理事長

(公社) 大阪介護老人保健施設協会 (大老協) 理事 (人材対策部会長)

(公社) 全国老人保健施設協会 (全老健) 人材対策委員会副委員長

(公社) 日本認知症グループホーム協会 (GH協)

(経営委員会副委員長人材対策委員会委員長)

(一社) 和歌山県老人保健施設協会 (和老協) 理事

他

令和5年度 全老健委嘱外部委員一覧

【厚生労働省】

- ① 「介護現場の生産性向上に関する普及・定着促進事業一式委員会」委員
- ② 「介護の日本語学習支援等事業検討委員会」委員
- ③ 「外国人介護人材の業務の在り方に関する検討会」参考人

【厚生労働省老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）】

- ④ 「外国人介護人材の介護福祉士国家資格取得に向けた指導者養成の在り方に関する調査研究事業検討委員会」委員（制度運営部会）
- ⑤ 「介護現場の生産性向上を促進するための中核人材のスキル強化と習得プログラムに関する調査研究事業」委員

【厚生労働省社会福祉推進事業】

- ⑥ 「在留資格『介護』の実態把握等に関する調査研究事業検討委員会」委員

【公益社団法人 国際厚生事業団（JICWELS）】

- ⑦ 「介護分野における特定技能協議会運営委員会」委員

【文部科学省】

- ⑧ 「専門職業人材の最新技能アップデートのための専修学校リカレント教育推進事業」外部評価委員

【経済産業省】

- ⑨ 「ロボット技術の介護利用における重点分野の改定等に係る調査 検討会」委員

大阪府

医療法人敬英会

社会福祉法人敬英福社会

分布マップ



有料老人ホーム
幸楽の里服部緑地
大阪府豊中市

老人保健施設さくらがわ
大阪市浪速区

特別養護老人ホーム
幸楽の里ねや川
大阪府寝屋川市

大阪湾

老人保健施設つるまち
大阪市大正区



老人保健施設グリーンガーデン橋本
グループホーム幸楽の里
ケアハウス幸楽の里アネックス
和歌山県橋本市

和歌山県

介護老人保健施設さくらがわ

厚生労働大臣表彰 優良賞

基本情報

けいえいかい

- ◆ 医療法人 敬英会
- ◆ 介護老人保健施設
- ◆ 大阪府大阪市浪速区
- ◆ 利用者数: 100名 従業員数: 124名

※利用者数及び従業員数は令和5年2月1日時点

選考委員の総評

外国人人材の採用を先進的に取り組むとともに、そのノウハウを広く横展開しており、他の先導的役割を担っている。

取組概要

- 平成21年より先駆的に外国人人材の採用に取り組み、これまでの採用者は300名を超えるなど、国内でも有数の実績を有するとともに、日本語の習得状況、介護のスキルなど、個々の状況に応じたOJTを実施するといった、多様な介護人材の確保・育成に取り組んでいる。
- 関係団体と連携の上、外国人人材の介護福祉士の資格取得・就労を目的としたプログラムを策定し、他の施設においても活用できるよう普及させるなど、外国人人材の介護福祉士の養成に大きく貢献している。

当施設の外国人人材の育成に係る取組事例

グエン ティ ハウさん (ハウさん)



出身: ベトナム
日本語能力: N2
家族: 一人暮らし
居住地: 大阪府



暮らしている頃は、ちよっとに苦しかったですが、職場からも近くに便利なところが入っています。



来日前

医療福祉大学の先生が日本で働いていることを知り、話を聞いて、来日前は勉強熱心になりたくて来日しました。

2016年7月 来日
日本語学校 入学
「大阪介護留学支援プログラム」で来日し、日本語学校に通いました。敬英会に就職する予定で来日したため、札幌山の手会の施設でアルバイトをしました。



【身につけた技能・事業以外からの支援は?】

- ・ 大阪府の留学支援制度
- ・ 大阪介護留学支援プログラム

【在留資格「介護」を目指した経緯】

- ・ 介護の仕事は、大変な仕事ではあるけれども、勉強が楽しめる環境です。
- ・ 介護の仕事は、大変な仕事ではあるけれども、勉強が楽しめる環境です。

【身につけて介護福祉士とは?】

介護の仕事で大変なのは、介護の知識をしっかりと身につけて、心を決めて介護をすることだと思います。介護福祉士を取った後は、もっと自信をもって仕事ができるようになりました。責任も大きくなるので、もっとちゃんと仕事をしたいというプレッシャーもあありますが、給料が上がるなどの待遇もよくなるので、仕事の内容も大きくなります。



在留資格「介護」

現在

将来

2019年4月

介護老人保健施設さくらがわ 入職

最初は日本語が通じなくて困ることが多かったが、何でも教えてもらえるので今困っていることは少ないです。就職してから今まで就業委員会に入っています。

介護の仕事は自分に合っていると感じており、他の仕事をしたこと思ったことはありません。介護福祉士国家試験と日本語能力試験N1の合格を目指しています。ケアマネジャーの資格も取得したいと思っています。結婚を期に退職するかはわかりませんが、日本に滞在して何らかの形で介護の仕事を探していきたいと思っています。

職場で語学交流をしています!

介護専門学校の時にアルバイトをしていた札幌山の手会の施設で利用者から札幌山の手会を教わったのをきっかけに、施設は札幌山の手会を使っています。



職場にはベトナム語に興味を持って学び始めた日本人の同僚がいるのでベトナム語を勉強しています。ベトナム語がきっかけとなって就業会でアルバイトを始めた人として、業務の交流が広がるとも思っています。

2023年8月24日厚生労働大臣優良表彰

7



外国人人材受入れの沿革

	年度	内容	法人 受入総数	うち、 老健さくらがわ
EPA	2009～2014	医療法人敬英会にてEPA（フィリピン）受入開始 （フィリピン3、ベトナム4）	7名	3名
研修 語学	2011～2018	ベトナムのタンロン大学と協定 （1年間の語学留学生を受入開始）	46名	27名
大阪介護 留学支援 プログラム	2016～2017	日本語学校を1年弱通学後 <u>（現在は2年通学へ強化）</u> 養成校入学を目指すプログラムを開始	7名	4名
	2018～ <u>2023</u>	大老協主導にて、大阪介護留学支援プログラムを 開始（参加7法人）	88名	15名
		養成校から入学する学生を受入	36名	4名
		日本語学校から養成校入学を目指す学生	52名	11名
<u>2024</u> <u>（予定含む）</u>	大阪介護留学支援プログラム 受入数	20名	0名	
<u>総数</u>			<u>168名</u>	<u>49名</u>

大阪介護留学生支援プログラムサプライチェーンの確立 (大老協有志と日本語学校、協力養成校)

9

送出し

- 前職要件
- 事前語学教育
- 費用
- 面接会

受入れ時

- 生活支援
- 語学 (N5以上)
- 費用 (渡航費等)

日本語学校

- 6か月以上の在籍が必須
- ただし、期間に応じて語学要件を設定する必要あり。
- 奨学金 (法人独自)

養成校

- 語学 (N3以上)
- 奨学金 (修学資金貸付金等)

就労後

- 語学 (N2以上)
- 期間
- WLB

国別の外国人介護職（2024年度）

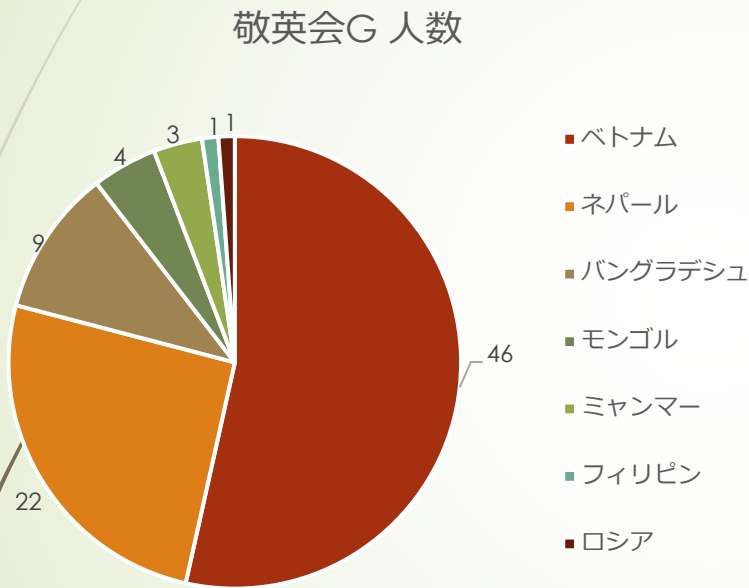
10

	敬英会G	
	人数	率
ベトナム	46	53.5%
ネパール	22	25.6%
バングラデシュ	9	10.5%
モンゴル	4	4.7%
ミャンマー	3	3.5%
フィリピン	1	1.2%
ロシア	1	1.2%
合計	86	100.0%

その他 小計	8
EPA	1
家族滞在	3
その他ルート	4
うち介護福祉士	3

合計	94
うち介護福祉士	51

国別の外国人介護職（2024年度）



	敬英会G	
	人数	率
ベトナム	46	53.5%
ネパール	22	25.6%
バングラデシュ	9	10.5%
モンゴル	4	4.7%
ミャンマー	3	3.5%
フィリピン	1	1.2%
ロシア	1	1.2%
合計	86	100.0%

取組を行ったきっかけ

- 現在の人材不足の状況では、将来的には外国人とICTに頼るしかないと考えたため。
- 法人の人材戦略では、生産性向上、処遇改善、多様性の拡大の3つを軸足に置いている。

人材不足に対しての戦略



取組により得られた成果や効果

■ 質の向上

介護福祉士の資格を取得した外国人職員は施設内で17名 介護福祉士の割合は、72.7%（H30年度）→88.5%（R4年度）と増加

※全国の介護職員における介護福祉士の取得割合は 54.7%（R4年度介護労働実態調査より）


■ 平均年齢の抑制

- 介護職 32.6歳（H29年度）から32.3歳（R4年度）に低下

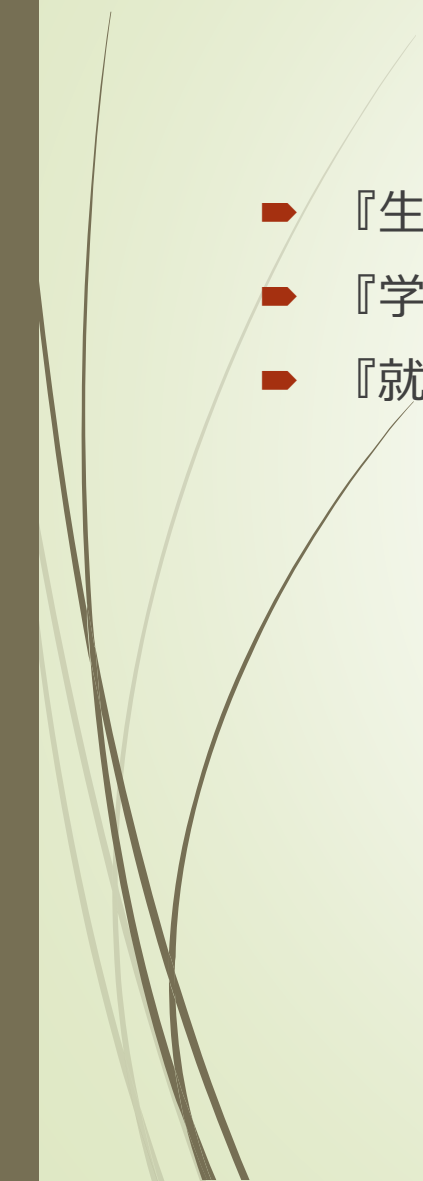
- 介護職員以外の他職種 40.2歳（H29年度）から44.4歳（R4年度）に上昇多職種は右肩上がりに平均年齢が上がっているが、外国人職員のおかげで平均年齢の上昇が抑えられている。


※介護労働者の平均年齢は45.9歳（H30年度 介護労働実態調査より）

⇒安定的、計画的な採用計画に繋がり、経営的にも良い結果になる！



最初に取り組んだこと

- ▶ 『生活支援』
 - ▶ 『学習支援』
 - ▶ 『就労支援』
- 




取組を進めるうえで大切にしていること

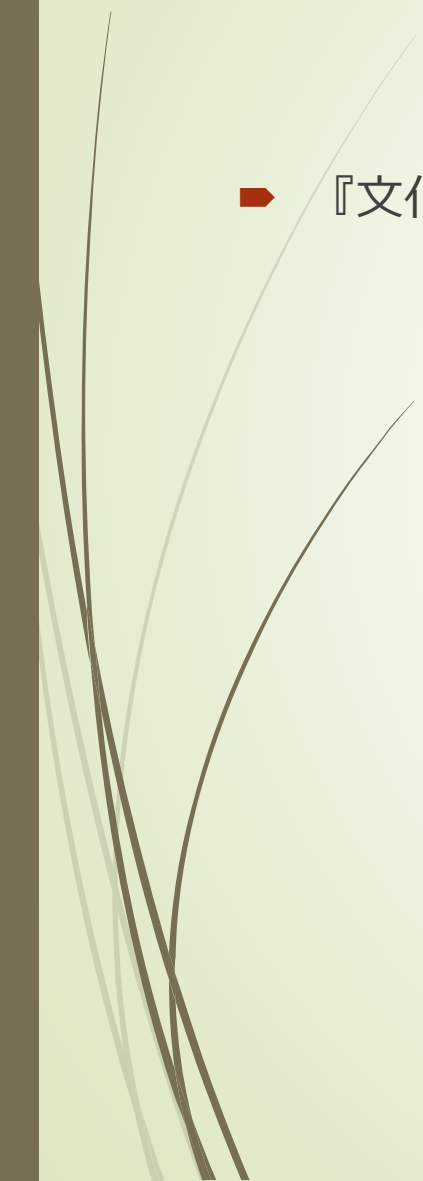
- ▶ 働きやすい職場環境づくり
- ▶ 外国人・日本人と区別しないこと
- ▶ 丁寧に話を聞くこと


取組を通じた職員の姿勢の変化

- ▶ 外国人職員の方は、新鮮な視点で多くの質問を投げかけくる。そのため、先輩職員の視野が広がったように感じている。
- ▶ また、既存の業務内容や進め方を改めて見直すことにも繋がった。職員が多様性に富むことは、様々な利用者さんにも対して対応できるようになることにも繋がり、介護の質も向上した。

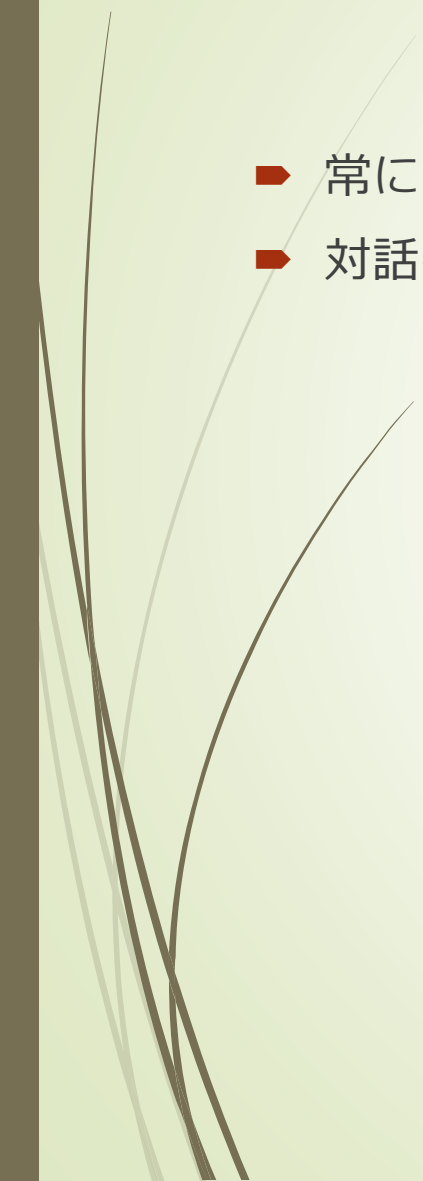


取組を継続するためのポイント

- ➡ 『文化や風土を醸成』
- 

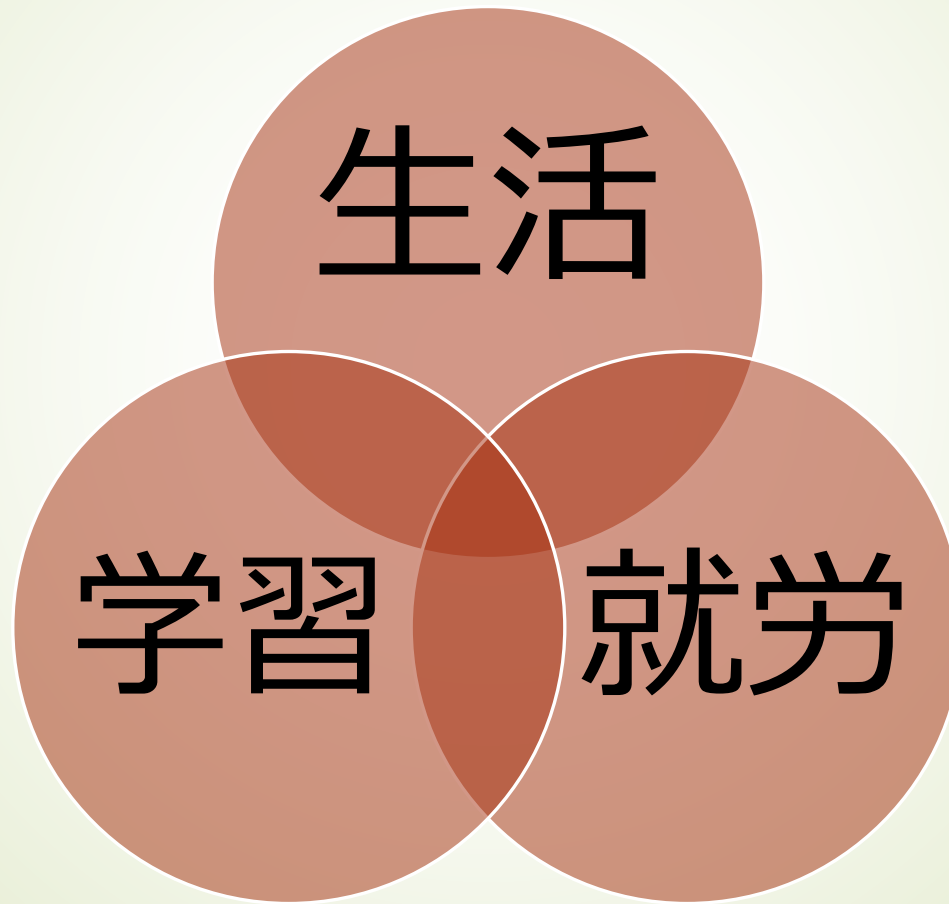


取組を地域に普及するために取り組んでいること

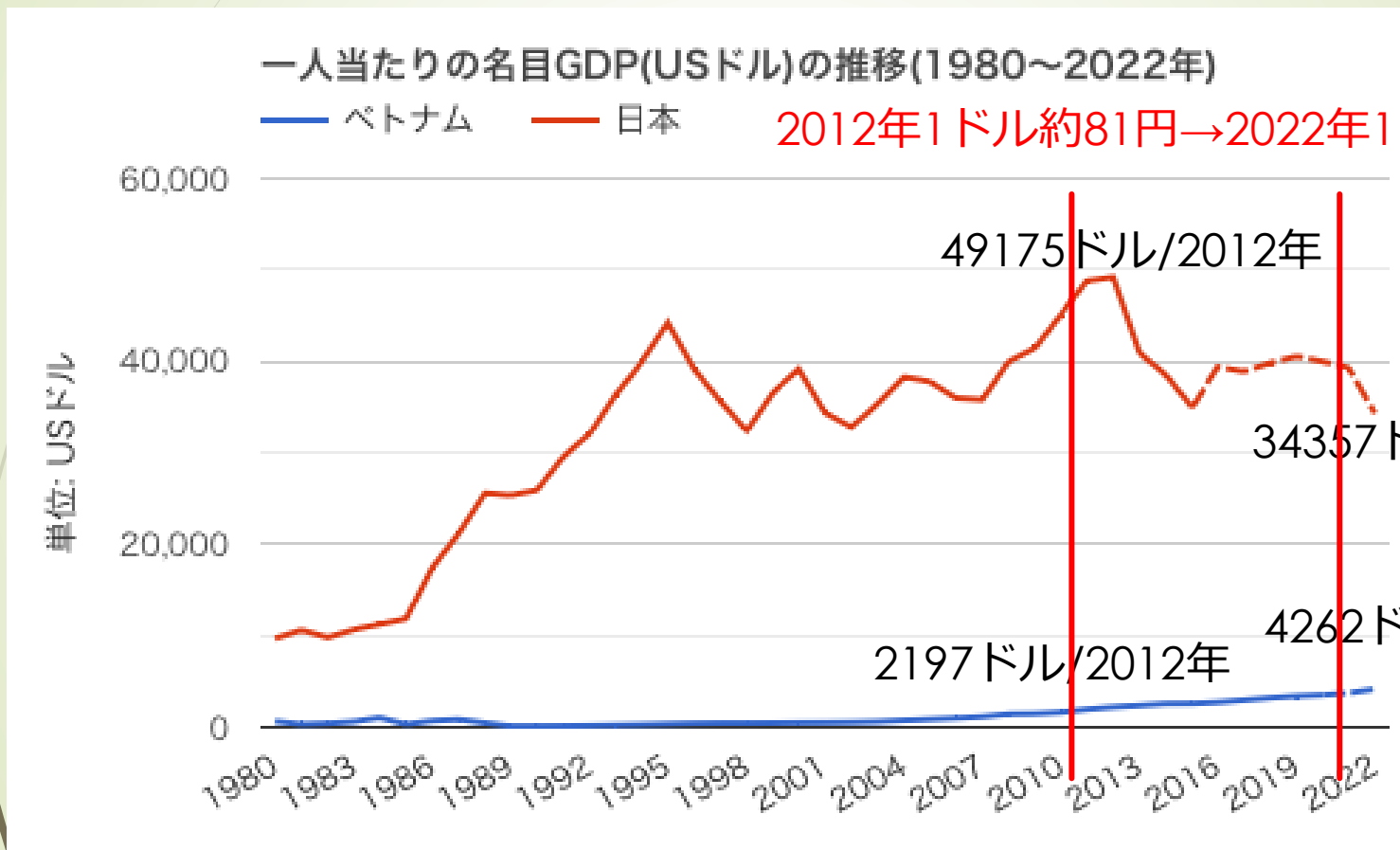
- ▶ 常にアンテナを持つことを大切
 - ▶ 対話を大切
- 

外国人介護人材の受け入れのポイント

20



お金だけでは無理！ (ベトナムの例)



出典

https://ecodb.net/exec/trans_country.php?type=WEO&d=NGDPDPC&c1=VN&c2=JP&s=&e=



ご清聴ありがとうございました！